

賃金引上げを 支援します!!

島根県内の 「業務改善助成金」 活用事例

業務改善助成金は、
中小企業・小規模事業者の生産性向上と、
事業場で最も低い賃金の引上げを
支援するための制度です。



島根労働局

雇用環境・均等室

小型トラクターを導入

【生産性の向上の効果】

⇒導入前

トラクターのサイズが大きく、旋回に時間がかかっていた。また、フロントローダー（※）の脱着に時間がかかっていた。

※乗用トラクタの前部に装着され、飼料・収穫物などの把持・運搬・積み込みなどに用いる作業用装置

⇒導入後

新たな小型トラクターの導入により、ビニールハウス等への出入りが容易になり、小回りが利くためスムーズに作業ができるようになった。

また、フロントローダーの脱着が容易になり、作業効率が向上した。

【成果】

トラクター運転作業及びそれに伴う作業の効率化に伴い生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を45円引き上げるとともに、また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

トラクター導入経費（約140万円）の5分の4を助成された。

通路のレイアウトを変更

【生産性の向上の効果】

⇒導入前

厨房から宴会場へ料理を運ぶ通路が狭く、料理を運ぶ台車の通行に時間がかかっていた。

また、通路に食器棚を設置していたため食器類の出し入れと料理の運搬が重なると運搬への支障が出ていた。

⇒導入後

新しい棚の設置により、収納が3倍になり台車の通路が広がったため、スムーズに料理の提供ができるようになった。

また、どこに何があるかわかりやすくなった。

【成果】

新しい棚の設置に伴うレイアウト変更により料理運搬等の効率化が図られ、生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を60円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

レイアウト変更経費（約150万円）の10分の9を助成された。

2次加工機械を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

1次加工の終了後に2次加工を行っていたが、受注増に伴い1次加工のラインの業務量が増加したため、2次加工が追い付かなくなり時間外労働が慢性的となっていた。

➡導入後

2次加工機械の増設に加え、さらにこれまで直進方式だった作業を並列作業に変更したことにより、2次加工の処理数が大幅にアップし、従業員の時間外労働も改善した。

【成果】

2次加工機械の増設とライン変更等の効率化に伴い生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を45円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

2次加工機械化導入経費（約180万円）の10の9を助成された。

専用ミシンを導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

縫製における特殊な作業を熟練従業員が1台のミシンで行っていた。同内容の作業を他のミシンで行うと20枚に1枚程度オイルの付着が発生し、その都度洗浄作業を行っていた。

➡導入後

最新の特殊作業が可能なミシンの導入により、熟練従業員の負担が軽減し、また、オイルの付着も減り洗浄作業時間が激減した。

さらに、メンテナンス等の時間が減少し、生産性が向上した。

【成果】

縫製における特殊な作業用等の効率化に伴い、生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を30円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

専用ミシン導入経費（約50万円）の10分の9を助成された。

電子調理器を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

一つ一つの料理の仕込みに時間がかかり、注文量が増えるほど調理時間が増加していた。また、時間的な制約がある中で一つの料理が終わらないと次の作業ができない状況であった。

➡導入後

電子調理器の導入により、仕込み時間が大幅に短縮され、同時に他の料理に手をかけることができるようになった。また、片づけに取り掛かる時間も早くなり従業員の士気が向上した。

【成果】

料理の仕込み作業の効率化に伴い生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を60円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

電子調理器導入経費（約160万円）の10分の9を助成された。

自動包装機を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

クリーニングの包装に大きさの制限があり、仕上がったクリーニング品をその都度、大きさごとに仕分け、包装機のラインに回していた。

➡導入後

立体自動包装機の導入により、仕上がったクリーニング品を大きさごとに自動で包装できるようになったため、仕分ける作業がなくなった。

【成果】

仕分け作業の効率化に伴い、生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を30円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

自動包装機導入経費（約190万円）の10分の9を助成された。

洗米用脱水機を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

洗米作業は小分けに何度も繰り返す必要があり、準備を含めて相当の時間と労力を要していた。また、不慣れな従業員が行うと慣れた従業員の倍以上の時間がかかっていた。

➡導入後

洗米用脱水機の導入により、脱水作業にかかる時間が大幅に削減され、また、不慣れな従業員であっても熟練者相当の仕上がりができるようになった。

【成果】

洗米作業の効率化に伴い生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を45円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

洗米用脱水導入経費（約70万円）の10分の9を助成された。

キャスター付きベッドを導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

固定式ベッドで高齢者の介助を行っていたが、ベッドを移動する際に時間がかかり、また身体的負担が大きかった。

➡導入後

キャスター付きベッドの導入により、部屋間のベッドの移動に係る時間が短縮されるとともに、従業員の身体的負担が軽減された。

【成果】

ベッド移動等の効率化に伴い、生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を30円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

キャスター付きベッド導入経費（約30万円）の10分の9を助成された。

洋菓子充填機を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

洋菓子容器への計量や充填作業を手作業でひとつずつ行っていたため、かなりの時間がかかっていた。また、こぼれるなど商品にならないものが多く発生していた。

➡導入後

充填機の導入により、計量の手間や商品にならないものが減少し、製造個数が10倍に増加した。また、従業員の負担が軽減し、サービス向上、新商品開発等に時間が活用できるようになった。

【成果】

洋菓子容器への充填作業の効率化に伴い生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を30円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

洋菓子充填機導入経費（約30万円）の10分の9を助成された。

野菜収穫機を導入

【生産性の向上の効果】

➡導入前

手作業で収穫を行っていたことから、時間がかかり、作物の劣化の要因となっていた。また、従業員の身体の疲労が大きかった。

➡導入後

野菜収穫機の導入により、収穫の速度が従来の5倍程度となり、商品の劣化を防ぐことができ、生産性が向上した。また、従業員の疲労の軽減につながった。

【成果】

野菜収穫等の効率化に伴い、生産性が向上し、事業場内で最も低い賃金の従業員の時給額を90円引き上げた。また、その他の従業員の賃金の引き上げも実施した。

野菜収穫機導入経費（約260万円）の10分の9を助成された。